

取組事例

歩いて暮らせるコンパクトなまちを目指す

(沼田町)

街の中心部の半径500m範囲内に病院、福祉・商業施設などを集約し、住みやすさを向上させる農村型コンパクトエコタウン構想の推進や、結婚・子育て・移住定住支援などの施策を展開

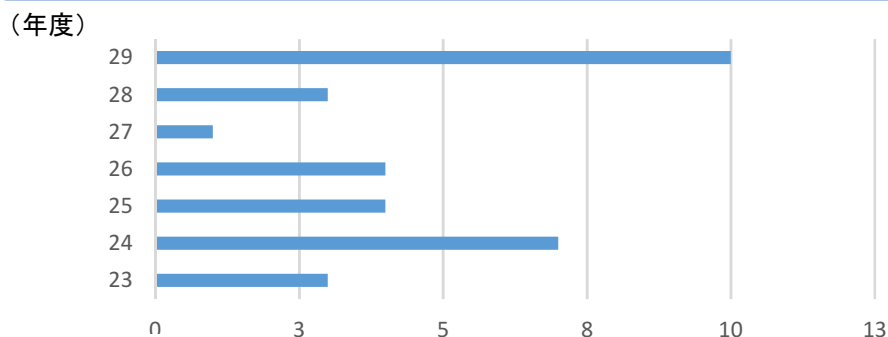
関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
転入超過者数	-56人	10人	0人	見直しを検討
平均来院数	84人/日	63人/日	100人/日	63.0

取組の推進体制

住民ワークショップである「つながる塾」のコアメンバーを中心とした住民と行政が協働して推進。

移住定住応援奨励金件数（新築住宅）



○主な成果

- 移住相談を受けたもののうち、3件の移住があった
- 平成29年度は10人の転入超過

取組事例 子どもの育成とコンパクトなまちづくりの推進

子どもが戻ってくるふるさとづくりを目指す

○主な取組

- 移住希望者に対するお試し住宅の整備
- 平成30年4月に小中連携による一貫教育の「沼田学園」が開園



コンパクトなまちづくりを目指す

○主な取組

生活に必要な医療・福祉、住宅、買い物等の機能を集約



<主な関連施設整備>

- 商業コミュニティ中核施設(H29.4～)
- 医療・福祉ゾーン 地域密着多機能型支援センター(H29.7～)
- 高齢者向け住宅整備（時期未定）
- 子育て住宅ゾーン 民間資金による若者向け住宅整備(H27～)